

**令和2年度  
大阪府スマートシティ戦略推進補助金 採択事業の概要**

※市町村名 採択順

事業名称	オールドタウン（南花台）での住民の生活に機能する自動運転実装事業
市町村名	河内長野市
事業計画概要	南花台ニュータウンで住民団体が運行中のAIオンデマンド交通「クルクル」の運行データ検証を踏まえ、地域住民の生活に機能する電磁誘導式自動運転（定時定ルート走行）を実現することで移動課題の解決に加え、安全性の向上・運行チームの負担軽減を図る。
採択コメント	住民の有償ボランティアや地元スーパーとの連携が計画段階から練り込まれている点を評価。

事業名称	行政手続きのオンライン化事業
市町村名	大阪市
事業計画概要	市のあらゆる行政手続きを一元的にオンラインで完結できるようにするため、全庁的なBPRを踏まえて現行の電子申請システムを再構築。 区役所等の窓口申請で必要な本人確認や押印（電子署名）、手数料の支払いがオンライン上で可能となる機能を追加。 順次、オンラインで申請可能な手続きを拡大する。
採択コメント	コロナ対策、アフターコロナに資する行政手続きのオンライン化の取組として、府内のみならず全国的に模範となる点を評価。

事業名称	オールドニュータウンにおける超低負荷型MaaS ～住民主体の送迎サービスとIoTセンシング技術の連動～
市町村名	池田市
事業計画概要	高齢化が進むニュータウンである伏尾台地域において、住民主体で行われている無償送迎サービス「ちょこ乗り」に、①高齢者向け配車支援のハードウェア導入、②歩行者感知センサーによる安全性向上、③ビーコンによる子ども・高齢者の安否確認サービスなどを上乘せし、地域の移動課題解決を図る。
採択コメント	MaaSの事例として住民主体且つセンシング技術を中心に多様な技術を導入している点などを評価。 住民のニーズを踏まえた利用者の更なる拡大につながる工夫に期待。

事業名称	住民異動受付支援事業
市町村名	貝塚市
事業計画概要	住所異動に係る届書を、転入届については転出証明書等をOCRで電子化したデータで作成し、転居及び転出届についてはコンビニ交付用のデータベースから作成し、「来庁者に書かせない窓口」を実現する。またRPAを活用し住民記録システムへ連携することで職員による手入力が不要となり、来庁者の待ち時間の短縮並びに窓口の混雑の緩和を図る。
採択コメント	コロナ対策、アフターコロナに資する窓口の三密対策につながる取組であり、大幅な待ち時間の短縮になる点を評価。

事業名称	いばらき環境（エコ）ポイントのデジタル化
市町村名	茨木市
事業計画概要	現行、紙のスタンプカード等での管理している環境（エコ）ポイントを令和2年3月にリリースした市の総合アプリ「いばライフ」の1機能として追加。 デジタル化することで住民の利便性の向上と、環境への低関心層への訴求を行う。
採択コメント	市の総合アプリを活用した取組であり、機能・サービス面の拡充に関する将来性、コストパフォーマンスを評価。 アプリのダウンロード数を広げる工夫に期待。

事業名称	市民課窓口受付支援システム
市町村名	吹田市
事業計画概要	市民課窓口において、転出証明書等をスキャナーで読み取り、書かせない、待たせない窓口を実現し、届書データを住民記録システムとデータ連携を行うことで、住民異動事務処理の効率化も両立する。 また市民がスマホ、自宅PCで入力した届け出内容のガイダンスを実現し、QRコードで連携（来庁前申請）することで、来庁時の滞在時間の削減を目指す。
採択コメント	コロナ対策、アフターコロナに資する窓口の三密対策につながる取組であり、スマートフォンで来庁前申請ができる点を評価。 導入コストに見合った待ち時間削減効果を期待。